

平成28年度 岩城小学校 学校関係者評価集計表

結果 : 4=あてはまる 3=おおむねあてはまる 2=どちらかといえばあてはまらない 1=あてはまらない

H29. 2. 1

評定 : A=対象の80%以上が肯定 B=対象の70%以上が肯定 C=対象の60%以上が肯定 D=対象の60%未満が肯定

<■は課題となる結果>

項目	評価指標	評価資料	アンケート結果					評定	・評価の分析、考察 ○改善策	今後の改善の方策 (学校関係者評価委員から)	%
			4	3	2	1	無				
教育目標	「自ら学び なかよく励む子の育成」の達成に向けて、具体的に教育改善している。	教職員	5	6	0	0	0	A	・保護者や地域の肯定的な意見が多い。今後、さらに確かなものとする取組が望まれる。		97%
		児童									
		保護者	18	32	2	0	5				
		地域住民	8	15	1	0	0				
学力・学習習慣	基礎・基本の充実を図り、確かな学力の定着・向上に向けて積極的に取り組んでいる。	教職員	8	3	0	0	0	A	・児童と保護者の評価に差がある。 ○家庭学習の方法を定期的に伝えるなど学校と家庭の連携を密にしていく。 ○学力定着調査、診断調査の結果を参考にして取組を改善する。 <来年度の取組案> ○朝の活動(読解力の強化) ○自主勉強(今月の課題を伝える) ○補習時間(補充学習と読解力の強化) ○個別指導の工夫 ○発達段階に応じた発表の仕方の指導を検討する必要がある。また表現の場を多く設け、大きな声で発表できるよう励ましていきたい。	・能力別の補習は、効率はよいが保護者の理解を得るのが難しい。 ・発表ができるようになる工夫をしてほしい。例えば、朝の会で一人ずつ歌を歌うとか…。	96%
		児童	57	20	3	0					
		保護者	10	39	3	0	4				
		地域住民	5	17	0	0	2				
	望ましい学習習慣・学習態度(家庭学習も含む)を育成している。	教職員	3	8	0	0	0	A			88%
		児童	61	13	4	2					
		保護者	10	35	12	0	0				
		地域住民									
児童は、発表の仕方が身に付いている。	教職員	3	8	0	0	0	A			85%	
	児童	52	24	2	2						
	保護者	8	30	17	1	1					
	地域住民										
学習指導	指導法や指導体制の工夫・改善に努め、分かる授業づくりに取り組んでいる。	教職員	5	6	0	0	0	A	・今後も、主体的で対話的な授業をめざして授業研究に取り組んでいきたい。 ・自然、文化について計画的に地域人材を活用した。 ○今後、読み聞かせボランティアなど新しい取り組みをしていきたい。		98%
		児童	65	14	1	0					
		保護者	25	30	1	0	1				
		地域住民	8	12	2	0	2				
	学習の充実のために、自然・文化・人など、地域の特色を生かしている。	教職員	5	6	0	0	0	A			97%
		児童	59	19	1	1					
心の教育	望ましい人間関係づくりができています。	教職員	5	6	0	0	0	A	・人権教育参観日に行ったふれあい学習会は、異世代と交流ができて大変有意義なものになった。 ○どのようにすれば多くの人に参加してもらえるか今後も話し合っていく。		97%
		児童	70	10	0	0					
		保護者	16	33	5	0	3				
		地域住民									
	児童が命の大切さを実感できる教育の充実が図れている。	教職員	4	7	0	0	0	A	・人権教育研究会をめざして若手教員がよく頑張ってくれた。		100%
		児童	75	5	0	0					
保護者											
地域住民											
人権・同和教育を計画的に実践している。	教職員	8	2	0	0	0	A			96%	
	児童	66	10	3	1						
	保護者	24	31	0	0	2					
	地域住民	11	10	3	0	0					
学校体育	体育の時間や遊びなどを通して、体力づくりを進めている。	教職員	8	3	0	0	0	A	・個々の目的に合わせて運動量や質を変え、体力づくりを進めることができた。		95%
		児童	50	23	7	0					
		保護者	30	26	1	0	0				
		地域住民									
特別活動	学校行事等は、創意工夫を生かし、充実している。	教職員	5	7	0	0	0	A	・運動会、ふれあい学習会等で工夫を凝らしながら、地域と交流できた。		99%
		児童	68	11	1	0					
		保護者	26	31	0	0	0				
		地域住民									
生徒指導	児童一人一人にアンケートや教育相談などを実施し、全校職員が協力して、問題の早期発見・早期対応が図れている。	教職員	9	3	0	0	0	A	・昨年度同様、保護者からの評価がかなり低くなっている。 ○教育相談やQ-U検査を行い、気になる点を情報交換しながら、家庭との連携に努めたい。	・知らない人とは話さない。という指導。知り合いになる工夫。交流をするなど…。 ・教師が挨拶しないのに、子どもがするはずがない。	90%
		児童	49	19	7	4					
		保護者	16	34	3	0	1				
		地域住民	7	10	2	0	5				
基本的な生活習慣	基本的な生活習慣の育成ができています。	教職員	5	7	0	0	0	A	○家庭ごとの差を埋められるよう学級PTAで話し合う。 ・児童と保護者との温度差が大きい。学校ではしているが、家庭や地域で挨拶ができにくい子がいる。 ○家庭への感謝や地域とのつながりについて考えさせながら、挨拶を進めていきたい。	・社会人になっても挨拶が一番大切。 ・SNSの問題。「上島町の闇」を子どもたちが見て、名指しでけなされている人の子どもはいじめられないだろうか。法的対策も考えていかなければ…。(郡P協議会で話題に)	92%
		児童	55	22	3	0					
		保護者	21	27	9	0	0				
		地域住民									
	進んで気持ちのよいあいさつができています。	教職員	4	5	3	0	0	A			90%
		児童	68	11	1	0					
進路指導	将来の夢や希望について、話したり、考えたりする機会を設けている。	教職員	1	5	4	0	0	A	○将来の夢について考える機会を多く設定したり、道徳教育の充実を図る。 ○スピーチなどを通して、自分の思いを表現する場を設けるようにする。	・6年生は中学に不安をもっている。中学教師が小学校の授業に参加するなど、小中連携を続けてほしい。	82%
		児童	49	18	6	7					
		保護者	15	33	9	1	0				
		地域住民									
学校安全	非常時に適切に対応できるような訓練や指導ができています。	教職員	5	7	0	0	0	A	○避難訓練に気の緩みを感じた。継続した指導が必要である。		95%
		児童	59	14	3	3					
		保護者	18	37	1	0	1				
		地域住民	8	15	1	0	0				
特別支援教育	コーディネーターを中心に、特別支援体制を整え、協力して支援している。	教職員	5	7	0	0	0	A	・例年より評価が高くなっている。指標を変更したことのみにならないように、校内体制をしっかり整えたい。		97%
		児童									
		保護者	12	36	2	0	4				
		地域住民									
保護者・地域との連携	保護者や地域の人々とのふれあいを通して、信頼関係を確立している。	教職員	5	7	0	0	0	A	・地域、保護者の期待に応える教職員をめざす必要がある。 ・ホームページを毎日更新した。	・これからも地域との連携が重要視されてくる。	96%
		児童									
		保護者	19	33	3	0	1				
		地域住民									
「学校だより」や「学級だより」等の内容は適切である。	教職員	7	5	0	0	0	A			96%	
	児童										
	保護者	20	33	2	0	2					
	地域住民	11	11	2	0	0					
施設設備	校舎内外の美化が充実している。	教職員	7	5	0	0	0	A	・昨年の反省を生かして、複数の目で安全点検を行った。 ○時間いっぱい掃除するよう指導していく。		98%
		児童	70	10	0	0					
		保護者	18	35	3	0	0				
		地域住民	9	14	1	0	0				